

人文科学研究所研究叢書

5.『民衆文化の構成と展開—遠野物語から民衆的イベントへ』

1989年4月1日発行

中央大学人文科学研究所 編 中央大学出版部発行

本体価格3,495円（税別）

ISBN 4-8057-3400-0

はしがき	
序 一民衆文化の概念と本書の構成について	
I 小論『遠野物語』—異人論の視点から	世良 正利
II 『遠野物語拾遺』における「事実」の構成	竹村 祥子
III 日本方言親族語彙の構成と展開	渡辺 友左
IV 異文化接触が生み出すもの—十七・八世紀陶磁にみる東西の遭遇	武山 智
V 生活と民衆文化としてのポエム	加藤 正泰
VI 労働文化論の「必然性と論理構造」の検討	宮城 隆司
VII 市民活動サービス・コーナーの誕生とその意義	奥田 泰弘
VIII 地方都市と民衆文化—遠野を尾道に比して	田野崎 昭夫
IX 民衆文化的行事の地方比較	
あとがき—「父 柳田國男を語る」を中心として	
事項索引	
人名索引	